

【島根県】

島根県出雲西高等学校

インターアクトクラブ

高校生ボランティアアワード2022

【43年間行ってきた海岸清掃】

日本海岸は、韓国、中国のごみでいっぱい、海外のごみが60%、日本のごみが40%という状況である。

インターアクトクラブでは、毎年、5か所の海岸清掃（くにびき海岸、湊原海岸、日御碕海岸、ひろげ浜、稲佐の浜）を行っている。海外のごみが多いことを知った生徒達は、島根県庁に行き話を聞くと、海岸ごみの処理費が年間2億円かかる、そのうち、海外のごみの処理に1億円かかることを知り、海外のごみを減らしたいと考え、韓国の高校との交流会を計画した。国際交流会は、今年で10年目を迎えた。韓国と日本の文化の違いを勉強し、韓国語も習い、韓国の高校生と交流をはかり、日韓のごみの問題のディスカッションなどを行った。すると、韓国の高校生は、自国のごみが多いことを知り、韓国に帰り、マスコミに話してくれたり、進んで海岸清掃をする生徒もいた。その結果、この5年間の調査で10%程度韓国のごみが減っていることが判明した。また、マイクロプラスチックの問題が討論会にも出て話題になり、私達は、山陰の海岸でもマイクロプラスチック調査も行うようになった。



【神戸川と宍道湖の水環境調査とサケの放流】

さらに、私達は、川の調査を開始し、神戸川の水質と生物調査を年間2回、8年間に渡って行っている。出雲地方の大河である神戸川の水質はよい環境を保っている。また、神戸川漁協の方たちと提携しサケを孵化し、稚魚を5万匹放流することを8年間行っている。このサケは4年後にまた神戸川に戻ってくる。その他、宍道湖の水質調査を毎月13年間に渡り行っている。また、宍道湖清掃も8年間行っている。宍道湖の水質を保つため、冬場にヨシ刈りも8年間行っている。



【海をきれいにするには川を、海、川をきれいにするには美しい森を作ること】 → 循環型林業の重要性

私達が、最終的に行き着いたところは森林であった。海をきれいにするには、川、海、川をきれいにするには森林である。自然界の終着地は、森林である。「海は森の恋人」と呼ばれるように、豊かな森林を作るとは、「切って、使って、植えて、育てる」循環型林業が重要である。私達は、島根県の森林7か所に入り、植林、伐採、枝打ち、下刈りなどを行い、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を救い、災害を防ぐ、豊かで力強い森を作るため、6年間努力を続けている。また、森林は、私達においしい水を提供してくれる。日本の森林が、二酸化炭素を蓄える量は、8,300万トン（25メートルプール23万個分）に該当するという。また、私達は、次世代の小中学生のために、森林講座を行い年間4回、300人規模の講座を行っており、好評である。内容は、第1部森林についてのお話をしてもらい、第2部は、竹とんぼ作り、和紙作り、染色、木の実の工作などを行い、大好評である。

これからも私達は、島根の水改善のため、全国第4位森林率78%の島根の森林を守るために精一杯努力していきたいと思う。

